

平成23年度第1回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成23年6月28日(火) 兵庫県庁 2号館11階A会議室		
委員	根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 西村多嘉子 (大阪商業大学総合経営学部教授) 木村 治子 (弁護士) 北野 参則 (公認会計士) 小西 庸夫 (元兵庫県代表監査委員)		
対象期間	平成23年1月1日 ~ 平成23年3月31日		
事務局報告 平成22年度第4回委員会の議事概要			
議案1 入札及び契約手続の運用状況等の報告			
対象工事 件数	945 件	対象期間中の指名停止件数	7 件
対象工事の契約金額合計	49,328,725 千円	対象期間中の資格制限件数	0 件
対象工事の平均落札率	85.8 %	対象期間中に契約締結した契約予定金額250万円超の工事	
議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議			
抽出案件 総数 5 件			
うち	一般競争入札	- 件	
	公募型一般競争入札	2 件	
	制限付き一般競争入札	1 件	
	指名競争入札	2 件	
	随意契約	- 件	
委員からの質問・意見 それに対する回答等	質問・意見		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

別 紙

	質 問 ・ 意 見	回 答
1	<p>事務局報告 平成 22 年度第 4 回委員会の議事概要について (質問・意見なし)</p>	
2	<p>入札及び契約手続の運用状況等の報告 H23.1.1 ~ 3.31 の入札・契約状況 (質問・意見なし)</p>	
3	<p>抽出した工事に係る入札及び契約手続等々の審議</p> <p>(1) 公募型一般競争入札： 北播磨県民局(加東土木事務所)発注 「丹波加美線(仮称)清水坂トンネル建設工事 多可工区」 丹波県民局(丹波土木事務所)発注 (2) 「丹波加美線(仮称)清水坂トンネル建設工事 丹波工区」 ・ 2つの工事は同じトンネル工事であるのに、両方の工事に参加している特別共同企業体の総合評価の点数が同じにならなかったのは何故か。 ・ この2件の工事は、分割せずに1者に施工させた方が良かったのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場の施工条件が異なっており、突発湧水対策や騒音・振動対策で提案を求めた内容が違っていた。</li> <li>・ 本工事ではトンネルの両側から掘削することとしており、両側の抗口が約 40 km離れているため、別工事として発注した。</li> </ul>
(3)	<p>制限付き一般競争入札： 但馬県民局(新温泉土木事務所)発注 「(急)味取地区 急傾斜地崩壊対策工事」 ・ 予定価格以下で入札してきたのが1者だけになっているのは何故か。 ・ 高落札率となることについては、何らかの改善をすべきだ。 ・ 現場の条件については、予定価格に反映できないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場の条件が厳しかったため、高めの入札となった。</li> <li>・ 7月から総合評価の見直しをすることなどを踏まえて、引き続き検討する。</li> <li>・ 特殊なものについて細かく対応することは難しく、標準歩掛によっているために高めの入札となっているが、対応できることがあるのかについては検討する。</li> </ul>
(4)	<p>指名競争入札： 西播磨県民局(光都土木事務所)発注 「(二)千種川水系千種川他流域情報提供設備工事」 ・ 辞退者が多く、落札率も高いのは何故か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本工事の内容はカメラの増設とシステムの一部改良であり、当初施工した者以外の者が敬遠したためと考えられる。</li> </ul>
(5)	<p>指名競争入札： 淡路県民局(洲本土木事務所)発注 「洲本灘賀集線無名橋架替工事」 ・ 入札額の差が大きいのは何故か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各入札参加者が想定した、工事に使用するクレーンの大きさに違いがあったため、入札額に差が生じたものと考えられる。</li> </ul>
<p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について ・ 今回は、無かった旨、事務局から報告。</p>		